

令和7年度 第1回 浜松市中央区協議会西地域分科会

日時：令和7年4月2日（水）

午後1時30分～3時（予定）

会場：西行政センター 3階 大会議室

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員自己紹介 資料A(P. 7 9)

4 区長あいさつ

5 市職員紹介 資料B(P. 8 1)

6 議事

(1) 【報告事項第1号】令和7年度中央区役所費（西地域分）の当初予算案の概要等について  資料1(P. 1)

(2) 【協議事項第1号】令和7年度区政運営方針（案）について  資料2(P. 3 1)

(3) 令和7年度西地域分科会の追加開催について  資料C(P. 8 3)

7 お知らせ

(1) （報告）令和6年度浜松市中央区魅力発信事業について  資料D(P. 8 5)

(2) 地域力向上事業の二次募集について  資料3(P. 6 1)

8 地域課題の意見交換

(1) 外国人や障がい者との交流について  資料4(P. 6 3) 資料E(P. 9 5)
【令和6年度 地域課題（まとめ）】 P.7

(2) 町内の防災危険箇所マップについて  資料5(P. 7 7) 資料F(P. 10 1)
【令和6年度 地域課題（まとめ）】 P.5

9 閉会

第 9 号様式

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☐ 協議事項 ☒ 報告事項				
件 名	令和 7 年度中央区役所費（西地域分）の当初予算案の概要等について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	令和 7 年度浜松市予算編成における中央区役所費（西地域分科会所掌区域分）に関しては、9 月開催の西地域分科会にて諮問を行い、10 月開催の西地域分科会において答申を得た。				
対象の区協議会	中央区協議会（西地域分科会）				
内 容	令和 7 年度中央区役所費（西地域分）の当初予算案の概要等について報告するもの。 詳細は別紙のとおり。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)					
担当課	西行政センター	担当者	丸山 浩亜	電話	597-1112

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和7年度 中央区役所費（西地域分） 予算案の概要

(単位：千円)

大 事 業 名	事 業 内 容	中 事 業 名	令 和 7 年 度 A	令 和 6 年 度 B	増 減 A－B	主 な 増 減 理 由 等
1 区管理運営事業	西行政センター庁舎、 公有財産、公用車の 維持管理に要する経費	(1) 区役所等運営事業	4,647	4,573	74	
		(2) 公有財産維持管理事業	27,130	30,513	△ 3,383	・臨時で実施のPCB廃棄物処理業務について令和6年度予算に計上していたことによる減（△2,517）
		(3) 庁舎維持管理事業	46,496	48,718	△ 2,222	・臨時で実施の組織改編に伴う庁舎内案内看板の設置について令和6年度予算に計上していたことによる減（△2,496）
		(4) 公用自動車管理事業	6,027	7,170	△ 1,143	・車検台数（4台→1台）による減(△130) ・リース車両の賃借料の減（△570）
		小計	84,300	90,974	△ 6,674	
2 協働センター等 運営事業	舞阪支所及び 協働センター並びに 付設体育館の 管理運営に要する経費		91,215	110,853	△ 19,638	・臨時で実施の舞阪支所駐車場撤去測量設計業務について令和6年度予算に計上していたことによる委託料の減（△10,923） ・臨時で実施の舞阪支所自動火災報知設備受信機更新工事について令和6年度予算に計上していたことによる減（△7,801）
		(ア) 舞阪支所	28,044	46,561	△ 18,517	
		(イ) 協働センター※	63,171	64,292	△ 1,121	※庄内、伊佐見、和地、篠原、神久呂、入野、雄踏
3 地区コミュニティ 協議会事業	地区コミュニティ協議会の 運営支援に要する経費		400	400	0	
4 区協議会運営事業	中央区協議会の運営に 要する経費		271	241	30	
5 地域力向上事業	市民協働の理念のもと、 市民提案やアイデアを基に 実行する事業に対する 補助金や、地域の活性化・ 地域課題解決に要する経費	(1) 市民提案による 住みよい地域づくり 助成事業（補助金）	3,000	3,000	0	【参考】令和7年度一次募集提案時点 提案件数 6件 予算執行見込額 1,935
		(2) 区民活動 ・文化振興事業	8,791	9,517	△ 726	・箕輪町の意向により「海の子と山の子の地域間交流事業」の内容を見直したことによる減（△726）
		(3) 区課題解決事業	1,800	2,795	△ 995	・臨時で実施の舞阪地区防災地図更新事業について令和6年度予算に計上していたことによる減（△872）
		(4) 協働センター等を核とした 地域課題解決事業	1,200	1,200	0	
		小計	14,791	16,512	△ 1,721	詳細は別紙参照
6 行政連絡事業	行政連絡に係る委託に 要する経費		43,230	43,245	△ 15	
7 自治会振興事業	各自治会所有の集会所の 施設整備に対する補助金、 防犯灯設置や維持管理に 対する補助金	(1) 自治会集会所整備費 助成事業（補助金）	2,898	13,266	△ 10,368	令和7年度：（改修）庄和町自治会（庄内地区）（2,898） 令和6年度：（新築）つるが丘自治会（雄踏地区）（10,000） （改修）舞阪町長池自治会（舞阪地区）（933） （改修）和光町自治会（和地地区）（2,333）
		(2) 防犯灯設置維持管理費 助成事業（補助金）	24,384	26,640	△ 2,256	・電気料の想定単価の減額にともなう減（△2,576）
		小計	27,282	39,906	△ 12,624	
8 浜名湖うなぎ まつり開催事業	浜名湖うなぎまつりの 開催に対する負担金等		4,217	4,217	0	
9 区役所デジタル 運営経費	中央区のデジタル関連事業 に要する経費		48	34	14	
合計			237,710	259,821	△ 22,111	

地域力向上事業の詳細

(単位：千円)

事業(所管)		R7年度 A	R6年度 B	増減 A-B	内 容
地域力向上事業		14,791	16,512	△ 1,721	
(1) 市民提案による 住みよい地域づくり助成事業 (西行政センター)		3,000	3,000	0	
(2) 区民活動・文化振興事業		8,791	9,517	△ 726	
ア	伝統文化支援事業 (西行政センター)	1,600	1,600	0	雄踏歌舞伎「万人講」普及のための経費 子供歌舞伎教室、定期公演を開催
イ	はまなこ夏フェスタ (西行政センター)	2,000	2,000	0	はまなこ夏フェスタ開催のための経費 ステージイベントや体験型イベントを開催し、表浜名湖の観光資源の活用、地場産品及び「音楽の都・浜松」のPRをする
ウ	海の子と山の子の 地域間交流事業 (西行政センター)	311	1,037	△ 726	庄内地区の子供と長野県箕輪町の子供が交流するための経費
エ	中村家住宅活用事業 (西行政センター)	380	380	0	重要文化財中村家住宅でイベントを開催するための経費 西地域内の高等学校の生徒による、書道展、生け花展、お茶会及びミニコンサートの開催
オ	おいしい舞阪 まるごと体験フェア (舞阪支所)	3,500	3,500	0	おいしい舞阪まるごと体験フェア開催のための経費 舞阪地区をはじめとする西地域の地場産品や産業に直接触れることができる体験型イベントの開催
カ	舞阪えんばい朝市開催事業 (舞阪支所)	1,000	1,000	0	舞阪えんばい朝市開催のための経費 新鮮な水産物及び舞阪地区の地場産品を販売するイベントの開催
(3) 区課題解決事業		1,800	2,795	△ 995	
ア	みんなが住みよい 西地域セミナー事業 (西行政センター)	42	70	△ 28	UDの啓発を行うための経費 ユニバーサルデザインに関する展示、小学生を対象としたユニバーサルデザイン学習会の開催
イ	西地域交通安全啓発事業 (西行政センター)	776	776	0	交通安全啓発イベント等開催のための経費 サイクルマナー教室、高齢者に特化した講習会を実施
ウ	健康寿命延伸啓発事業 (中央健康づくりセンター (西))	100	195	△ 95	健康寿命延伸の啓発イベント開催のための経費 「はままつ食de元気応援店」や西行政センター、協働センター等での健康寿命延伸の啓発、西行政センター市民ホールでの啓発展示の実施
エ	表浜防風林再生事業 (舞阪支所)	882	882	0	表浜防風林を再生するために植樹を実施する経費
オ	舞阪地区防災地図更新事業 (舞阪支所)	0	872	△ 872	舞阪地区に設置されている防災地図看板を最新の情報が記載された看板に更新するための経費
(4) 協働センター等を核とした 地域課題解決事業 (西行政センター)		1,200	1,200	0	協働センター等で実施する課題解決のための経費

令和 7 年度
当初予算案の主要事業
(西地域関連事業抜粋)

令和 7 年 2 月
浜 松 市

目次

○中央区区政運営方針 基本方針

■市民協働によるまちづくりの推進

- ・ 自治会連合会75周年記念事業 1
- ・ 地域づくり推進事業 2

①地域の多彩な特色を活かし、にぎわいと豊かな文化を育む魅力あるまちづくりに関わる事業

- ・ 遠州灘海浜公園篠原地区道の駅整備事業 3
- ・ (新規) 天竜川・浜名湖地域合併20周年記念事業 4
- ・ 中村家住宅土蔵改修事業 6
- ・ (新規) 浜名湖アサリ総合対策事業 7
- ・ 弁天島海浜公園海水浴砂場整備事業 8
- ・ 公共建築物長寿命化推進事業 9

②安全・安心に暮らせるまちづくりに関わる事業

- ・ 防犯灯設置維持管理助成事業 10
- ・ 浜松・雄踏斎場再整備事業 11
- ・ 地下水有機フッ素化合物関連事業 12
- ・ 交通事故ワースト1脱出作戦 13
- ・ 雨水流出抑制施設整備事業 14
- ・ (新規) 持続可能な公共交通確立に向けた取組 15
- ・ (新規) 学校体育館スポットクーラー整備事業 16
- ・ 災害対応用簡易ベッド、プライベートテントの購入(避難所資機材の配備) 17

③共生のこころで支え合い、やさしさあふれるまちづくりに関わる事業

- ・ (新規) 東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿受入事業 18
- ・ (新規) 地域子育て相談機関の整備 19
- ・ (新規) 市立幼稚園・保育園における基幹園モデル事業 20
- ・ (新規) 市立保育園等の主食提供事業 21
- ・ (拡充) はじめてのパパママレッスン 22

令和7年度当初予算案の主要事業の概要(全編)は、次のQRコードを読み取ることでご確認いただけます。

1. 表紙、目次、主要事業(P1~53)

主に企画調整部、市民部



2. 主要事業(P54~86)

主に健康福祉部、こども家庭部



3. 主要事業(P87~131)

主に環境部、産業部



4. 主要事業(P132~160)

主に土木部、都市整備部



5. 主要事業(P161~187)

主に消防局、危機管理監、
学校教育部、特別会計、企業会計



※「QRコード」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

自治会連合会 75 周年記念事業	市民部市民協働・地域政策課 電話：457-2094
------------------	------------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	725	0	0	0	725

※コミュニティ振興事業の一部、行政連絡調整事業の一部の合計

目的	自治会活動に顕著な功績を収め、市勢の進展に貢献した者に感謝状を贈呈するとともに自治会長に対する研修を実施する。
背景	・ 浜松市自治会連合会は、毎年「自治会長のつどい」を開催している。加えて5年ごとに周年記念事業を開催している。 ・ 市は、周年記念事業に合わせて自治会功労者への感謝状贈呈と全自治会長を対象とした研修を行っている。
事業内容	1 自治会功労者感謝状贈呈 225 千円 自治会活動に顕著な功績を収め、市勢の進展に貢献した者へ感謝状の贈呈と記念品の授与を行う。 ・ 表彰要件 自治会連合会の周年記念式典が開催される年度に自治会長として9年以上その職にあって現職の者 ・ 対象人数 自治会長 737 人のうち 45 人（見込み） 2 研修 500 千円 地域コミュニティの中核となる自治会に対し、持続可能な運営を目指し、今後の運営におけるヒントを得てもらう機会とするため、全自治会長を対象とした研修会を開催する。 〈参考〉 市自治会連合会 75 周年記念「自治会長のつどい」の開催概要 ・ 日程 令和8年2月4日（水）14：30～18：00 ・ 会場 グランドホテル浜松 2 階「鳳」 ・ 主催 浜松市自治会連合会

70 周年記念事業の様子



感謝状の贈呈



研修

地域づくり推進事業	市民部市民協働・地域政策課 電話：457-2094
-----------	------------------------------

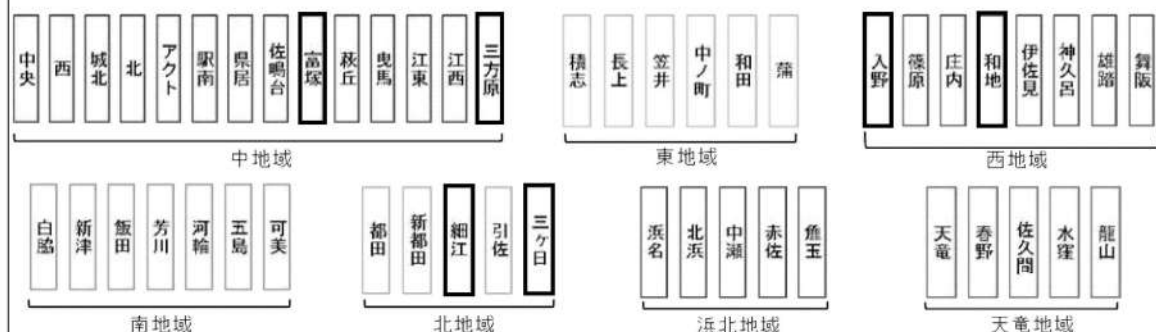
(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	2,356	0	0	0	2,356

目的	協働センター等において、地区コミュニティ協議会を始めとする地域団体への伴走型支援を充実することで、地域コミュニティの振興を図る。
背景	- 地域の多様な主体が参画し地域課題や地域振興について話し合う組織として、地域の任意で設立し、市が認定する地区コミュニティ協議会の制度を創設した。 - 地域団体が自立し、持続可能な活動を行うため、協働センター等のコミュニティ担当職員が団体の活動資金調達などについて伴走型で支援する必要がある。
事業内容	1 アドバイザー派遣事業 1,400 千円 地域づくりアドバイザー等、地域づくりに関する専門知識を有する人材を招き、地域づくりや地域組織の立ち上げに関するワークショップを開催する。 ・対象 地区コミュニティ協議会の設立を検討している地区、地域づくりのあり方や仕組み等を検討したい地区 等 2 (臨時) 資金調達研修 345 千円 資金調達の手法を学ぶ研修を実施し、地区コミュニティ協議会など、地域で活動する団体の財源基盤強化の相談役を育成する。 ・対象 コミュニティ担当職員 各区役所や協働センター等に勤務する職員 3 その他 611 千円 コミュニティ担当職員の地域づくり先進都市への短期派遣研修や区協議会委員研修 など

地区コミュニティ協議会設置対象地区（50 地区）

※設置は任意（地域の意向による）。黒い太枠は地区コミュニティ協議会設置済地区



遠州灘海浜公園篠原地区道の駅整備事業

企画調整部企画課

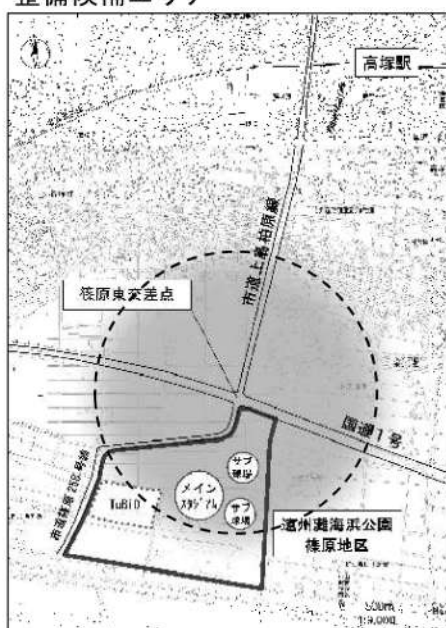
電話：457-2241

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	30,881	0	0	0	30,881

目的	遠州灘海浜公園篠原地区近接地への道の駅の整備に向けて、基本計画策定及び官民連携手法導入可能性調査を実施する。
背景	- 篠原地区には県による新野球場の建設が計画されており、令和7年1月に県と市による協議会が設立され、公園区域内外の全体的な利活用などについて協議している。 - 令和3年度以降、地域や経済界から道の駅設置や周辺地域の開発に向けて要望があり、令和5年度には道の駅及び周辺地域活性化構想を策定した。
事業内容	遠州灘海浜公園篠原地区近接地への道の駅の整備に向けて、基本計画策定及び官民連携手法導入可能性調査を実施する。 1 基本計画の策定・官民連携手法導入可能性調査 30,668千円 - 実施期間 令和6年10月～令和8年2月 - 整備候補地の選定、施設計画の作成、概算事業費等の算出 - サウンディング型市場調査、リスク分担やVFMの検討、事業手法の検討 など 2 参考事例視察等 213千円 持続可能な道の駅や周辺エリア活性化の事業手法に関する情報収集

整備候補エリア



事業スケジュール

年度	内容
令和6年度	基本計画素案作成
令和7年度	- サウンディング型市場調査 - 事業手法の検討 - 施設計画の作成 - 概算事業費、ライフサイクルコストの算出 - 事業収支のシミュレーション - 事業スケジュールの作成 - 基本計画策定

(新規) 天竜川・浜名湖地域合併 20 周年記念事業

企画調整部企画課

電話: 457-2241

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	24,366	0	0	0	24,366

事業内容	目的	合併 20 周年の節目を、市内外の方が各地域の魅力を再認識し、地域に対する愛着や誇りを育み、市民、行政、企業が一体となって地域の未来を考える機会とし、今後の持続可能なまちづくりを目指す。
	背景	- 平成 17 年 7 月 1 日に 12 市町村が合併し、令和 7 年度に 20 周年という節目を迎える。 - 平成 27 年の合併 10 周年では、記念式典で 10 年を振り返るパネルを展示した後、各区役所等において巡回展示を実施した。
	事業内容	1 天竜川・浜名湖地域 12 市町村合併 20 周年記念式典 3,436 千円 (1) 日時 令和 7 年 7 月 1 日(火) (2) 会場 サーラ音楽ホール 2 メインイベント 20,000 千円 市内各地域の様々な魅力を一堂に集めて体感できるイベントを開催 (1) 開催日 11 月～12 月の 2 日間 (2) 会場 フラワーパーク、渚園などの屋外施設(検討中) (3) 内容 ・地域の特産物の飲食物販ブース、地域企業出展ブースなど ・地域産業体験 ・地域の伝統芸能やまつりの展示、実演 など 3 記念事業 930 千円 ・静岡文化芸術大学との協働によりロゴマークを作成 ・ステッカーを作成し、庁内のグッズ等に貼付



12 市町村による合併協定調印式

天竜川・浜名湖地域合併 20 周年記念事業費 69,438 千円

1 記念式典 3,436 千円

2 メインイベント 20,000 千円

3 記念事業

(1) 地域の歴史と文化の継承

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	教育費	記念給食提供 (学校給食費管理事業、学校給食センター事業 学校給食食材購入事業)	既存予算 (4,260,546)	健康安全課
2	農林水産業費	伝えようふるさとの味 (食と農の地域ブランド推進事業)	既存予算 (10,700)	農業水産課

(2) 地域間交流の促進

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	商工費	エヴァンゲリオンで浜松を周遊 (アニメコンテンツを活用した誘客促進事業)	10,000	観光・シティプロモーション課
2	総務費	地域音楽交流会開催 (音楽のあふれるまちづくり発信事業)	5,000	創造都市・文化振興課
3		出張コンサート開催 (音楽のあふれるまちづくり発信事業)	2,100	

(3) 産業振興と地域経済の活性化

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	商工費	浜松オートレース場冠レース開催 (産業経済対策運営経費)	0	産業振興課
2		バイクのふるさと浜松スタンプラリー (地域産業振興支援事業)	5,000	
3	農林水産業費	市内スーパーとのコラボ (食と農の地域ブランド推進事業)	1,650	農業水産課
4		市内ガーベラ生産者団体とのコラボ (農産物生産振興事業)	100	農業振興課
5		林業振興イベント (FSC 認証材利用拡大推進事業)	既存予算 (1,345)	林業振興課
6		オンラインキッチン (食と農の地域ブランド推進事業)	既存予算 (2,200)	農業水産課
7		浜松パワーフードパーク (食と農の地域ブランド推進事業)	既存予算 (10,700)	

(4) 市内外に向けた魅力の発信

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	総務費	フォトコンテスト (市政広報事業)	3,722	広聴広報課
2		ロゴマーク及びステッカー制作	930	企画課
3	商工費	囲碁タイトル戦 (天元戦) 誘致 (家康公ゆかりの地浜松推進事業)	2,500	観光・シティプロモーション課
4	総務費	広報はままつ連載 (市政広報事業)	既存予算 (101,534)	広聴広報課
5		バックパネル制作 (市政広報事業)		
6		SNS を活用した広報 (市政広報事業)	既存予算 (0)	
7		インターネット広告 (市政広報事業)	既存予算 (3,000)	

(5) 区地域力向上事業 15,000 千円 (5,000 千円×3 区)

各区が区独自の記念事業を地域力向上事業の予算内 (1 区あたり上限 5,000 千円) で実施

中村家住宅土蔵改修事業	市民部文化財課 電話:457-2466
-------------	------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	27,211	0	20,100	0	7,111

目的	老朽化している中村家住宅の土蔵屋根瓦の葺き替え及び外壁の修繕を行い、良好な状態で中村家住宅を公開活用する。
背景	・中村家住宅は昭和 48 年に国指定重要文化財に指定された寄棟造茅葺平屋建の建物で、土蔵建物は歴史的環境を構成する建築物の一つである。 ・土蔵建物の屋根瓦及び外壁は老朽化が進行しており、屋根瓦の隙間から樹木の生育も見られる。
事業内容	特徴的な漆喰づくりの構造を持つ鬼瓦の修繕を中心として、歴史的建造物の価値を損なわないように配慮して、土蔵建物の屋根瓦の葺き替え及び外壁の修繕を実施する。 1 工事内容 ・屋根瓦葺き替え、漆喰復元工事 ・外壁漆喰部ひび割れ、浮き部補修、外壁鉄部塗装工事 ・土蔵屋根上空及び周辺支障枝伐採 2 実施時期 令和 7 年 6 月～令和 8 年 1 月 ※主屋の施設公開は通常通り実施

土蔵建物の外観



土蔵屋根瓦の様子



(新規) 浜名湖アサリ総合対策事業	産業部農業水産課 電話: 457-2333
-------------------	--------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水産業費	産業経済	3,400	1,700	0	0	1,700

※水産業持続化促進事業（負担金）の一部

目的	浜名湖の水産資源を保護・回復する取組により、水産業の持続化・活性化につなげる。
背景	・ 浜名湖を代表する海産物のアサリが壊滅的な打撃を受けている。（平成 30 年水揚量: 1,798t→令和 5 年水揚量: 374t） ・ 各種団体及び市民による自主的・一時的なアサリ不漁対策なども実施されているが回復には至っていない。
事業内容	浜名湖地区水産振興協議会が行う浜名湖のアサリ資源回復を図る事業に対する負担金 1 アサリ栽培漁業促進事業負担金 2,400 千円 浜名湖内での天然稚貝の育成に代えて、水槽内での種苗の育成により、人工的に稚貝を生産（年間約 100 万個体の生産を想定） 2 アマモ再生事業負担金 1,000 千円 近年の水温上昇や潮流変化により繁殖場所が減少しているアマモの植栽・育成により、アサリの産卵や育成に適した環境を生成（約 5,000 m²の植付を想定） 〈過去の取組〉 浜松市未来を拓く農林漁業育成事業費補助金（浜名漁協と浜松ホトニクスとの連携） R2～R4 光技術を活用したプランクトン給餌による天然稚貝育成・放流 R5 新技術導入による人口稚貝育成場の確保 R6 生育環境の整備と垂下的な稚貝保護技術との相乗効果による稚貝の育成 〈その他浜名漁業協同組合に対するアサリ対策事業費支援〉 R7 アサリ資源保護活動事業（水産振興費補助金 3,500 千円の一部）



アサリの種苗育成



アマモの植栽

弁天島海浜公園海水浴場砂浜整備事業

産業部観光・シティプロモーション課
電話：457-2295

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	20,530	0	0	0	20,530

※弁天島海浜公園維持管理事業の一部

目的	弁天島海浜公園の砂浜を整備し、海水浴客が安全・安心に利用できる海水浴場を開設する。
背景	・弁天島海浜公園海水浴場は遊泳期間中に市民や観光客などが利用している。 ・近年、海水浴場の砂量減少に伴い、水深の浅い安全遊泳区域の十分な確保が困難となっていた。
事業内容	1 整備内容 東側エリア(長さ 200m・奥行 54m)、西側エリア(長さ 190 m・奥行 37 m)の海水浴場の確保に必要となる砂を搬入し、整地する。 2 スケジュール 令和 7 年 5～6 月 砂浜整備工事 3 弁天島海浜公園海水浴場の概要 (1) 開設 令和 7 年 7～8 月 (2) 場所 中央区舞阪町弁天島 3775-2 (3) 設備 シャワー、トイレ、更衣室、ロッカー、監視員あり (4) 駐車場 あり

<弁天島海浜公園海水浴場の様子>



公共建築物長寿命化推進事業	財務部公共建築課 電話:457-2461
---------------	-------------------------

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費 総務費	地方自治	5,730,247	0	4,667,000	0	1,063,247

※関連課 アセットマネジメント推進課(電話:457-2533)

※債務負担行為 事項:美術館外1施設小規模改修事業費

期間:令和8年度まで 限度額:116,016千円

※債務負担行為 事項:光明ふれあいセンター外2施設大規模改修事業費

期間:令和8年度まで 限度額:616,047千円

※債務負担行為 事項:南陽協働センター外2施設大規模改修事業費

期間:令和9年度まで 限度額:2,503,025千円

目的

背景

事業内容

公共建築物長寿命化計画（一般施設）に基づき、市が保有する公共建築物（一般施設）の改修を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図るとともに、長期的な財政負担を軽減・平準化し、市民に安全で快適な建築物を提供する。

建築後 40 年が経過する施設面積の割合は、令和 6 年度の約 48%から、令和 16 年度には約 71%に増加することが見込まれる。

1 施設劣化調査 11,726 千円

・施設の劣化状況を把握するための調査の実施
外壁打診調査等 12 施設

2 小規模改修 791,338 千円（債務 116,016 千円）

・建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位（外壁、屋根、受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ）の改修・更新

・工事施設
屋根：雄踏幼稚園ほか、外壁：村櫛幼稚園ほか、設備：中消防署曳馬野出張所ほか

3 大規模改修 1,692,095 千円（債務 3,119,072 千円）

・建築後 40 年を経過する建築物を対象とした大規模改修

施設	事業費			
	R7	R8	R9	計
勤労福祉センター	934,110	—	—	934,110
新津協働センター	649,253	—	—	649,253
光明ふれあいセンター	41,173	322,851	—	364,024
細江健康センター	62,829	271,106	—	333,935
南陽協働センター	0	89,951	1,023,752	1,113,703
南陽図書館	0	41,953	452,034	493,987
和地協働センター	0	538,352	356,983	895,335
富塚協働センター（設計）	0	22,090	—	22,090
渚園レストハウス（リース料）	4,730	—	—	4,730
計	1,692,095	1,286,303	1,832,769	4,811,167

防犯灯設置維持管理費助成事業	市民部市民生活課 電話:457-2231
----------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	156,363	0	0	0	156,363

※関連課 中央区区振興課（電話:457-2210）、浜名区区振興課（電話:585-1141）、天竜区区振興課（電話:922-0011）

目的	自治会が管理する防犯灯の設置・維持・管理に対して助成することにより、夜間における犯罪の防止及び交通の安全を図る。
背景	昭和33年「町を住みよくする会」が発足し、防犯灯設置事業を開始した。
事業内容	独立式防犯灯の補助上限を見直し、令和7年度から改定する。 1 設置費 補助対象 共架式・独立式防犯灯の設置費用 補助上限 共架式：22.4千円／灯 独立式：76千円／灯（改正前補助上限：44千円／灯） ※独立式防犯灯の標準仕様を定め、実態に即した額を設定 設置予定 共架式：579灯、独立式：79灯 ※各自治会調査による必要灯数を計上 2 維持費 補助対象 防犯灯の電気料全額 補助額 電力会社が定める1灯当たりの電気料単価×防犯灯数 3 管理費 補助対象 防犯灯の補修費 ランプ又は自動点滅器の交換、独立式防犯灯の柱の交換等 補助上限 22.4千円／灯

<防犯灯（共架式・独立式）の設置状況等>

区分		中央区				浜名区		天竜区	合計
		中	東	西	南	北	浜北		
R3決算	灯数(灯)	149	140	121	87	215	185	45	942
	決算(千円)	3,658	3,474	3,043	2,068	5,176	4,253	1,136	22,808
R4決算	灯数(灯)	131	98	91	62	152	188	74	796
	決算(千円)	3,145	2,337	2,268	1,391	3,706	4,275	1,850	18,972
R5決算	灯数(灯)	214	106	112	36	70	198	50	786
	決算(千円)	4,886	2,512	2,712	913	1,757	4,605	1,369	18,754
R6当初	灯数(灯)	268	145	90	36	72	187	46	844
	予算(千円)	6,867	3,767	2,232	828	1,764	4,340	1,203	21,001
R7当初	灯数(灯)	208	143	90	23	45	127	22	658
	予算(千円)	5,571	4,597	2,552	569	1,544	3,220	922	18,975
累計	灯数(灯)	21,495	11,865	11,846	9,526	7,887	7,800	6,300	76,719
	新行政区 合計灯数	54,732				15,687		6,300	76,719

浜松・雄踏斎場再整備事業	市民部市民生活課 電話：457-2026
--------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	環境・くらし	2,766,626	0	2,720,300	22,000	24,326

※財源（その他）都市計画税

目的	平成 28 年 2 月策定の「市斎場再編・整備方針」に従い、浜松斎場及び雄踏斎場の再整備を行う。
背景	・浜松斎場は築 52 年、雄踏斎場は築 29 年を経過し建物・設備の老朽化が顕著である。 ・令和 5 年 9 月に PFI 事業の入札を行い、西松建設グループが落札した。
事業内容	1 浜松・雄踏斎場再整備業務委託費（PFI 事業） 2,743,243 千円 ※ （1）事業期間 令和 6 年 2 月～令和 24 年 3 月（債務負担行為 文言債務） （2）内 容 浜松斎場 建替え（14 基→8 基） 雄踏斎場 近接地へ拡張 4 基増設、既存 3 基改修（3 基→7 基） （3）事業費 整備費 8,219,274 千円（設計、解体、建築費、金利等） 維持管理費 4,560,851 千円（維持管理運営費） （4）スケジュール 令和 6 年 2 月 事業者本契約 令和 6～8 年度 設計、解体、工事 令和 9 年度 供用開始、既存改修 令和 10 年度 駐車場整備、既存改修 2 浜松斎場臨時待合棟及び臨時駐車場賃貸借料、施設管理費負担金 15,231 千円 施設借上、光熱水費、設備保守点検など 3 斎場再整備事業モニタリング支援業務 7,513 千円 事業期間 令和 6 年度～令和 10 年度（債務負担行為 令和 7～10 年度 28,160 千円） 内 容 PFI 事業者の行う業務が要求水準書を満たしているかを確認するもの 4 事務等に要する経費 639 千円 雄踏斎場用地借上料、住民説明会に要する会場借上料及び郵便料 等

浜松斎場イメージ図



雄踏斎場イメージ図



※うち雄踏斎場分1,203,767千円【西行政センター追記】

地下水有機フッ素化合物関連事業

環境部環境保全課

電話：453-6144

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	環境・くらし	11,395	0	0	0	11,395

※水質保全事業の一部

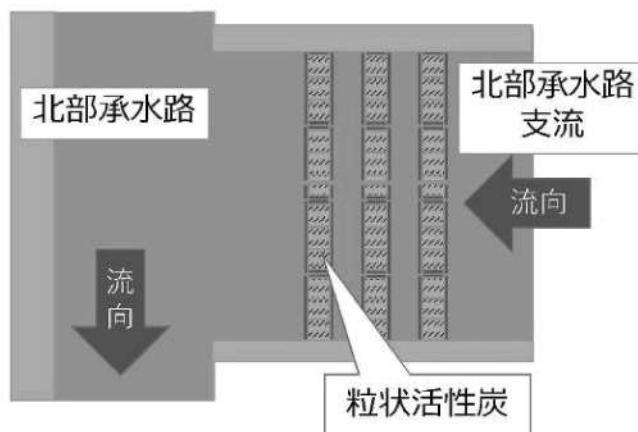
目的	市内の河川や地下水において、有機フッ素化合物（PFAS）が暫定指針値を超過していることから、市民の安心・安全のために継続的な監視調査及び高濃度検出地点での浄化対策を実施する。
背景	- 令和6年12月までに実施した地下水有機フッ素化合物調査（366地点）において、67地点で暫定指針値を超過しているが、排出源の特定には至っていない。 - 伊佐地川に繋がる北部承水路支流で1,900ng/Lという高い値を検出しており、市民から浄化対策を望む声が挙がっている。（暫定指針値50ng/L）
事業内容	PFASの調査及び浄化実証実験を行う。 1 公共用水域有機フッ素化合物対策事業 9,999千円 （1）粒状活性炭を用いた河川水の浄化実証実験 北部承水路支流河川敷へ粒状活性炭を詰めた袋を籠に入れ、川底に並べて設置し、河川水中の有機フッ素化合物を除去し、その除去率や持続性を検証 （2）浄化対策技術に関する最新情報の収集 多くの企業や行政機関が関わる国立研究開発法人産業技術総合研究所主催のPFAS対策技術コンソーシアムに加入し、会員限定となっている技術フォーラム等に参加 2 地下水有機フッ素化合物調査事業 1,396千円 地下水の採水及び市保健環境研究所への搬入

＜PFAS調査の状況＞
（R6年12月末時点）

＜粒状活性炭を用いた河川水浄化実証実験イメージ＞

(単位：地点)

区分	調査 地点数	指針値 超過 地点数	うち 飲用 利用数
公共用 水域	39	9	0
地下水	366	67	9
合計	405	76	9



交通事故ワースト 1 脱出事業	土木部道路企画課 電話:457-2232
-----------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	2,133,500	717,365	627,600	0	788,535

※交通事故データ活用事業、交通安全施設等整備・修繕事業 国交付金事業、国県道単独事業、市道単独事業の一部の合計

目的	事故データに基づく交通事故削減効果の高い対策、通学路等の生活道路の安全対策や交通事故の危険性が高い交差点における事故削減対策を実施することにより、交通事故ワースト 1 からの脱出を図る。
背景	・本市の人口 10 万人当たりの人身交通事故件数は、15 年連続で政令指定都市中ワースト 1 であり、平成 27 年度から浜松市交通事故ワースト 1 脱出作戦を実施している。 ・対策実施前の平成 26 年の 8,915 件と比較して、令和 5 年の人身交通事故件数は 3,916 件減少 (43.9%減) した。
事業内容	1 交差点等事故削減対策 134,000 千円 交差点改良等 (コンパクト化、カラー化、路面表示による注意喚起等) 20 か所 AI による危険予測箇所への対策 20 か所 中央分離帯開口部閉鎖 10 か所 2 通学路安全対策 1,312,800 千円 児童・生徒の安全な歩行空間確保等の対策 (歩道設置、側溝改良等) 指定通学路における小中学校からの要望箇所 (市内一円) 3 幹線道路事故危険箇所対策 294,500 千円 幹線道路等の交差点改良や路面表示等による総合的な事故削減対策 国道 257 号旅籠・成子工区、県道和田山曳馬停車場線、国道 257 号北高東 等 4 生活道路等安全対策 196,000 千円 生活道路における車両進入抑制や速度低下、歩行環境向上を目的とした区画線及び法定外表示の更新、ゾーン 30 プラスの設定 等 5 交差点等リフレッシュ事業 100,000 千円 交差点や信号のない横断歩道周辺の安全対策 法定外表示 (止まれ) の更新約 600 か所及び区画線設置等約 300 か所 等 6 自転車通行空間整備事業 83,000 千円 浜松市自転車活用推進計画に基づく安全で快適な自転車利用環境の整備 主要地方道浜松環状線、市道中央住吉線 外 7 交通事故データ活用事業 13,200 千円 交通事故データ活用システムのデータ更新、AI モデルを活用した交通事故分析
   通学路安全対策 生活道路安全対策 自転車通行空間整備	

雨水流出抑制施設整備事業	土木部河川課 電話:457-2451
--------------	-----------------------

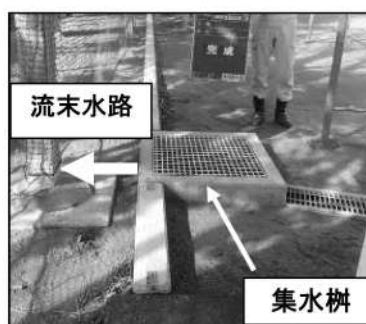
(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	50,000	0	20,000	0	30,000

※関連課 都市整備部公園管理事務所(電話:473-1829)、学校教育部教育施設課(電話:457-2403)
 ※河川改良事業 単独事業の一部、公園施設改良事業の一部、小学校施設整備事業の一部の合計

目的	学校の校庭及び公園内に雨水流出抑制施設を整備し、河川等への初期流出量を軽減することにより治水安全度の向上を図る。
背景	・近年は局地的豪雨の頻発により浸水被害が多発しており、市民から浸水被害の軽減対策が強く求められている。 ・令和2年2月策定(令和6年改訂)の市総合雨水対策計画において重点対策エリアを定め、市内小中学校44校、公園7公園を計画へ位置付け雨水貯留施設の整備を進めている。
事業内容	1 校庭貯留 市総合雨水対策計画に基づき、市内5校に雨水流出抑制施設を整備 (1) 整備箇所(計画貯留量) 神久呂小(384 m³)、上島小(161 m³)、飯田小(331 m³)、 与進北小(718 m³)、伎倍小(1,645 m³) (2) 整備計画 令和7年度末進捗率 27.3%(12校/44校) ・整備完了 12校(R6.12時点) ・整備中 4校(R6.12時点) ・今後整備 28校(～R15、うち令和7年度:5校) 2 公園貯留 市総合雨水対策計画に基づき、市内の公園に雨水流出抑制施設を整備 (1) 事業箇所(計画貯留量) 東部やすらぎ公園(469 m³)、美蘭中央公園(実施設計) (2) 整備計画 令和7年度末進捗率 57.1%(4公園/7公園 うち令和7年度 1公園) 今後整備 3公園

校庭貯留



公園貯留



(新規) 持続可能な公共交通確立に向けた取組	都市整備部交通政策課 電話: 457-2441
------------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	305,037	0	0	0	305,037

※債務負担行為 事項: 公共交通網維持支援事業費負担金

期間: 令和9年度まで 限度額: 200,000千円

※交通計画推進事業 総合交通計画推進事業、公共交通推進事業 公共交通網維持支援事業(負担金)の合計

目的	交通事業者と協定を締結し、バス路線の再編や利便性向上策の検討をすることで、バス交通網の維持、公共交通分担率の向上を図る。
背景	・昭和61年度の市営バス廃止後、本市バス路線の大部分は遠州鉄道(株)(以下「遠鉄」)が運行している。 ・利用者の減少や運転手不足等により、現状ではバス路線の維持や、路線の単純な増便は困難な状況にある。
事業内容	遠鉄と協定を締結し、公共交通分担率の向上のための取組を実施する。 1 期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年間) 2 内容 ・遠鉄は現行路線を維持し、市は年1億円を上限に運行経費の一部を支援する。 ・両者で協働し、路線バスの利便性、生産性、持続可能性を高める取組について検討・実施する。 例: 市内バス路線網のあり方、路線バスの利用者増加策など 3 スケジュール ・令和7年度 既存の鉄道路線を有効活用した効率的なバス交通網形成の可能性を調査 ・令和8年度～ 検討結果を踏まえて実証運行を検討、次期地域公共交通計画を策定



【市内を運行する遠鉄バス】

(新規) 学校体育館スポットクーラー整備事業	学校教育部教育施設課 電話:457-2403
------------------------	---------------------------

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
教育費	こども・教育	671,482	0	655,900	2,981	12,601

※関連課 学校教育部市立高等学校(電話:453-1105)

※小学校施設整備事業の一部、中学校施設整備事業の一部、市立高校施設整備事業の一部の合計

※財源(その他) 資産管理基金繰入金

目的	体育授業等における児童生徒の熱中症予防及び指定避難所開設時の避難者の生活環境改善のため、全小中学校及び市立高等学校の体育館に大型スポットクーラーを整備する。	
背景	・学校施設の空調については、普通教室への整備が完了し、特別教室への整備を現在進めているが、授業等のほか指定避難所として活用される体育館における熱中症対策も課題となっている。 ・令和7年の夏頃に導入するため、令和6年度11月補正において債務負担行為を設定した。	
事業内容	1 対象校 ・小中学校 140校、142体育館 ※1体育館あたり2台整備 (細江中及び中部学園はそれぞれ体育館2施設) ・市立高校 1校、1体育館 ※4台整備 2 導入目的 ・夏季の体育授業等におけるクールダウン ・避難所の環境整備 3 事業費 671,482千円 ・備品購入費 569,952千円 スポットクーラー288台購入 ・工事請負費 101,530千円 体育館の電源工事 4 財源 ・指定避難所分(139施設、278台分) 緊急防災減災事業債639,500千円を充当 ・指定避難所以外分(4施設、10台分) ※江南中、春野中、三ヶ日中、市立高校 学校教育施設等整備事業債16,400千円を充当	
1 導入機種(参考例)	・寸法 幅120cm、奥行74cm、高さ133cm ・重量 180kg ・性能 冷房、暖房 ・電気料 1時間約70円	スポットクーラー(参考例) 
2 スケジュール	令和7年2月議会 契約議案提案 令和7年夏頃 整備完了予定	

災害対応簡易ベッド、プライベートテントの購入	危機管理監危機管理課 電話:457-2537
------------------------	---------------------------

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
消防費	安全・安心・ 快適	111,136	50,000	0	0	61,136

※繰越明許費、国の補正予算対応

※防災施設・資機材維持管理事業

目的	各避難所に簡易ベッド及びプライベートテントを配備することで、大規模災害時におけるプライベート空間の確保につながる環境改善を行い、市民の安全・安心を確保する。
背景	- 東日本大震災や能登半島地震における避難所生活では、避難者が体育館の床で寝たことによる健康被害が報告されたほか、女性の更衣室や授乳スペースの確保、集団生活によるストレスの軽減が課題となっており、プライベート空間の確保が必要である。 - 国は避難所の生活環境を抜本的に改善するため、地方公共団体の先進的な防災への取組を支援するため、補正予算にて新たな交付金を創設した。
事業内容	全避難所（183 か所）に簡易ベッド及びプライベートテントを配備する。 - 予定配備数 - 簡易ベッド 3,890 台（1 避難所あたり 20 台＋予備 230 台） - プライベートテント 1,830 基（1 避難所あたり 10 基） - 配備スケジュール 繰越明許費を設定し、令和 7 年度中に必要数を全数配備 - 財源 新しい地方経済生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型） 補助率 1/2 上限 50,000 千円

プライベートテント及び簡易ベッドのイメージ



(新規) 東京 2025 デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿受入事業	市民部スポーツ振興課 電話: 457-2421
---------------------------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	39,828	19,914	0	0	19,914

※大型スポーツイベント等誘致事業の一部

目的	共生社会の実現を目指し、東京 2025 デフリンピック大会に出場するブラジル選手団の事前合宿の受け入れを行うことで、ブラジルとの更なるスポーツ交流の拡大・深化に繋げる。
背景	- 本市は、平成 28 年 6 月にブラジルのホストタウンに登録され、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿では 464 人のブラジル選手を受け入れた。 - 事前合宿の受け入れ実績が評価され、令和 6 年 7 月 15 日にブラジルろうあスポーツ連盟と「東京 2025 デフリンピック大会の事前合宿に関する協定」を締結した。
事業内容	「東京 2025 デフリンピック大会」へ出場するブラジル選手団の事前合宿受け入れのため、スポーツ施設の会場借り上げや市内の選手輸送などを支援する。 1 選手団 (1) 合宿競技 サッカー、バレーボール、ハンドボール、陸上競技、バドミントン、テニス、卓球、ビーチバレー、柔道、空手、テコンドー、水泳 (2) 会場候補 江之島ビーチコート、浜松アリーナ、浜北体育館、花川運動公園庭球場、舞阪総合体育館、雄踏総合体育館 など (3) 日程 令和 7 年 11 月上旬 (4) 参加人数 選手・スタッフ合わせ約 200 人を見込む ※日程及び参加人数は、令和 7 年 2 月決定予定 2 市民交流イベント等 静岡県立浜松聴覚特別支援学校、浜松ろうあ協会、日伯交流協会、日系ブラジル人との交流、ブラジル選手団歓迎セレモニーの実施 など
<デフリンピックについて> 『きこえない選手のオリンピック』と言われるデフリンピックは、国際ろうあ者スポーツ委員会が主催し、4 年毎に開催され、第 25 回の 東京大会は日本初開催となる。 東京大会は、令和 7 年 11 月 15 日～26 日 (12 日間) で 21 競技、3,000 人の選手が参加する予定。 (前回大会) 第 24 回ブラジル大会 参加国 : 73 개국 競技数 : 21 競技 参加選手 : 2,412 人	



大会情報サイトより参照

(新規) 地域子育て相談機関の整備	こども家庭部子育て支援課 電話: 457-2792
-------------------	------------------------------

(単位: 千円)

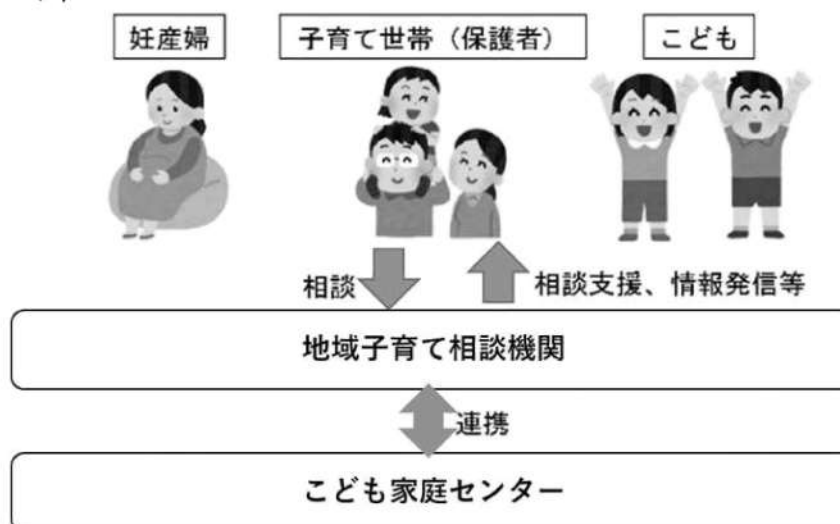
予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
民生費 教育費	こども・教育	2,569	1,500	0	0	1,069

※関連課 こども家庭部幼保運営課（電話: 457-2114）

※地域子育て支援拠点事業の一部、市立保育所等運営事業の一部、市立幼稚園運営事業の一部の合計

目的	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や子育て支援事業等を円滑に利用できるよう環境を整備する。
背景	・令和 6 年 4 月に施行された改正児童福祉法により、市町村は、その定める区域ごとに、住民からの子育てに関する相談に応じ、必要な助言を行うことができる地域子育て相談機関の整備に努めなければならないと規定された。 ・地域子育て相談機関の設置場所について、国は、利用者にとって敷居が低く、物理的にも近距離に整備することとしており、保育所、幼稚園、児童館などを想定している。
事業内容	1 令和 7 年度設置場所 ・児童館 4 館（直営 3 館：北星・江西・天竜、指定管理施設 1 館：三ヶ日） 受付時間：月～土曜日 9 時～17 時 ・雄踏保育園、与進幼稚園 受付時間：原則として平日 10 時～15 時 2 実施内容 ・利用者登録、相談記録の作成、子育てに関する相談及び必要な助言 ・地域子育て相談機関の周知、子育て支援に関する情報提供 ・利用者同士の交流促進、子育てに関する講座の開催等 ・こども家庭センターとの情報共有等

〈事業イメージ〉



(新規) 市立幼稚園・保育園における基幹園モデル事業	こども家庭部幼保運営課 電話:457-2114
----------------------------	----------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
民生費 教育費	こども・教育	2,609	500	0	0	2,109

※市立保育所等運営事業の一部、市立幼稚園運営事業の一部、市立幼稚園施設整備事業の一部の合計

目的	地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る。
背景	・令和5年6月に施行した「市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針」において、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園を基幹園と設定し、令和6～7年度を試行期間として取り組みを進めることとしている。 ・令和6年4月に施行された改正児童福祉法により、市町村での整備が努力義務とされた地域子育て相談機関に、基幹園を位置づけることとしている。
事業内容	基幹（モデル）園において、情報発信や未就園児への支援、私立園との連携等により、地域における特有の課題の解決などに寄与できるかなどの効果・課題等を検証する。 1 基幹（モデル）園 雄踏保育園、与進幼稚園 2 園 2 実施内容 (1) 地域の幼児教育・保育に関する情報発信 私立園を含む各園のパンフレット等の情報を集約して情報発信する。 (2) 地域の子育て支援・相談機能の充実 子育てや育児に関する相談スペースや乳幼児が通える場所を整備する。 (3) 私立園と市立園の連携推進 私立園と市立園の垣根を越えて情報交換や合同研修を行う。 3 今後のスケジュール ・令和7年度 基幹（モデル）園での効果・課題等の検証 ・令和8年度 基幹園として本格実施



基幹園連携会議の様子

(新規) 市立保育園等の主食提供事業	こども家庭部幼保運営課 電話:457-2114
--------------------	----------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
民生費	こども・教育	14,213	0	8,700	0	5,513

※市立保育所等運営事業の一部、保育事業デジタル運営経費の一部の合計

目的	市立保育園等において持参対応としている主食を園が提供することにより、安全で衛生的な給食の実施体制を確保するとともに、子育て世代の負担軽減を図る。									
背景	・市立保育園等では、3歳未満児は園で主食を提供しているが、3歳以上児は保護者が主食を持参している。 ・近年の猛暑で食品の安全性、衛生面から食中毒予防対策として、主食提供の必要性が高まっている。									
事業内容	令和8年度からの3歳以上児の主食提供を目指し、システム改修等の準備を行う。 1 対象施設 市立保育園 19 園、市立幼保連携型認定こども園 1 園 計 20 園 2 内容 各園での炊飯により3歳以上児に対し主食（米飯等）を提供 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>現行（R8.3 まで）</th><th>変更後（R8.4 から）</th></tr> <tr> <td>3歳以上児</td><td>主食持参</td><td rowspan="2">主食提供</td></tr> <tr> <td>3歳未満児</td><td>主食提供</td></tr> </table> 3 保護者負担 児童1人あたり年額 7,200 円を想定（月額 600 円×12 か月） 4 スケジュール 令和7年度 主食提供に向けた準備 令和8年度 主食提供の開始		区分	現行（R8.3 まで）	変更後（R8.4 から）	3歳以上児	主食持参	主食提供	3歳未満児	主食提供
区分	現行（R8.3 まで）	変更後（R8.4 から）								
3歳以上児	主食持参	主食提供								
3歳未満児	主食提供									



市立保育園での昼食の様子

(拡充) はじめてのパパママレッスン	健康福祉部健康増進課 電話: 453-6117
--------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	健康・福祉	3,840	1,920	0	0	1,920

※妊娠期健康講座事業の一部

目的	妊娠中の身体管理及び親となる心構えと育児の実際を伝えることにより、妊娠中の不安解消や安全な分娩、産後の円滑な育児開始を支援する。		
背景	・妊婦とそのパートナーがともに妊娠・出産への理解を深め、子育てに取り組む機会を増やすため、令和4年度から対面教室の他にオンラインを新たに開始した。 ・令和6年度から教室運営を浜松市助産師会に委託し、事業規模を拡大したが、対面教室は定員を超える申し込みがある。		
事業内容	より多くの受講者が対面教室に参加できるよう定員、回数等の見直しを実施する。		
	1 実施内容		
	(1) 対象者 妊娠 20 週から 35 週までの初妊婦と夫（パートナー）		
	(2) 方法 助産師による講義と実技		
	(3) 内容 夫婦で妊娠・出産・育児の準備をするために必要な知識を提供		
	・講話：「妊娠中・産後の心身の変化と夫婦の関係の変化」等		
	・実技：赤ちゃんのお世話、抱っこの仕方等		
2 変更点			
	区分	令和 6 年度	令和 7 年度
	対面教室	・ 青少年の家 30 組×24 回	・ 可美公園総合センター 42 組×13 回
会場		・ 雄踏文化センター 35 組×6 回	・ 青少年の家 32 組×6 回
		・ プレ葉ウォーク浜北 35 組×6 回	・ 雄踏文化センター 32 組×6 回
			・ プレ葉ウォーク浜北 34 組×9 回
	組数計	1, 140 組	1, 236 組
	オンライン教室	300 組（50 組×6 回）	300 組（75 組×4 回）
	総組数	1, 440 組	1, 536 組

＜参加者の推移＞

(単位: 人)

区分	R3	R4	R5	R6 見込	R7 見込
会場	1,453	1,221	1,417	2,280	2,472
オンライン	0	330	272	600	600